

第6章：ビジョンの推進

ビジョンに基づくまちづくりを着実に実現させるためには、本市の推進体制の充実だけでなく国、大阪府等の関係機関との連携を図り進めていく必要があります。より発展的なビジョンの実現には、行政の取り組みだけではなく市民や事業者、各種団体が相互に協力する協働体制を構築する必要があります。ここでは、ビジョン実現に向けた取り組みについて示します。

(1) ビジョン実現に向けた第一歩

枚方市駅周辺地域の再整備については、駅前広場の拡充、外周道路の整備等交通環境の改善が必要であることなど、行政主導で関与する事柄が比較的大きく占めています。とりわけ新町2丁目地区での市民会館大ホールの建替えを含んだ総合文化施設の整備を契機にその建替えに伴う現市民会館跡地の土地利用を図ることや市役所庁舎の建替えが控えていることなど、再整備に向けて大きく動きはじめようとしています。

このような状況で、ビジョンを実現していくためには地元等と連携を図りながらその取り組みを進めなければなりません。そのためにまず、ビジョンの内容の周知と理解を促していくための取り組みを行います。

(2) ビジョン実現に向けたさらなる展開

先に述べた行政主導で行われる再整備に続くステップとして、ビジョン実現に向けたさらなる展開を促進しなければなりません。それには民間活力や地域のルール等に基づき実現されていくものも多く、関連する区域の地権者等との調整や住民等の自主的な合意形成が必要となります。

それにはまず、地域の人たちがビジョンに示すまちの将来像やまちづくりの方向性を共有し、より地域に密接した取り組みとして行っていく必要があります。そこで、住民や事業者等の地域の人たちが主体となって、より具体的で積極的なまちづくりを進められるような組織づくりを行政がサポートし、その組織が『地域による自主的な、まちづくりの管理運営の取り組み』を行っていくことでより発展的なビジョンの実現をめざします。